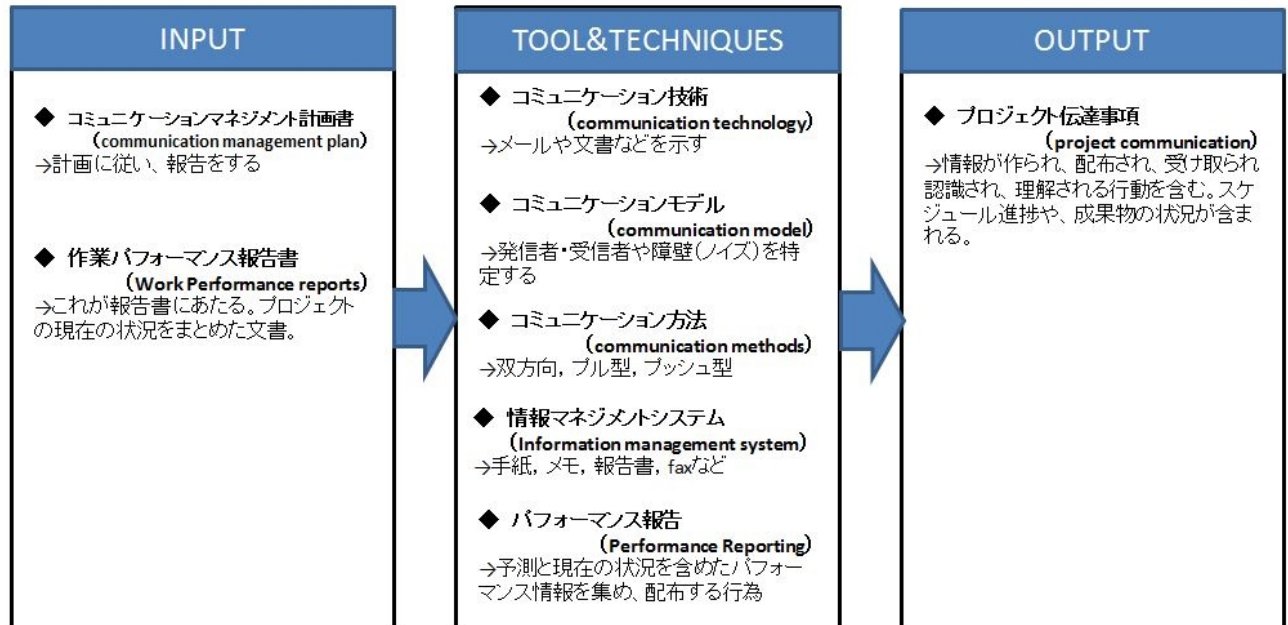


プロジェクトマネジメント講座

10.2 コミュニケーションマネジメント コミュニケーションマネジメントプロセス

コミュニケーションマネジメント（Manage Communications）プロセスは、計画に従って、ステークホルダーに対して情報提供を行うプロセス。基本はコミュニケーションマネジメント計画書通りに報告を行うが、ステークホルダーからの依頼で、予期しない情報提供を行う場合もある。概要は以下のとおり。



上記ツールと技法は、基本的にコミュニケーションマネジメント計画プロセスのツールと技法と同じ。コミュニケーションマネジメント計画プロセスで検討したコミュニケーション技術、コミュニケーション・モデル、コミュニケーション方法を利用して、報告をするという表現。その他特徴的な内容は以下のとおり。

10.2.1 コミュニケーションマネジメント【インプット】

- 作業パフォーマンス報告書 (Work Performance reports)

作業パフォーマンス情報(知識エリア横断的な関係性を基に集め、様々はコントロールプロセスの分析から集めたデータ)を物質的に電子的に表したものの。つまり報告書の事。

10.2.2 コミュニケーションマネジメント【ツールと技法】

- パフォーマンス報告 (Performance Reporting)

予測と現在の状況を含めたパフォーマンス情報を集め、配布する行為の事。

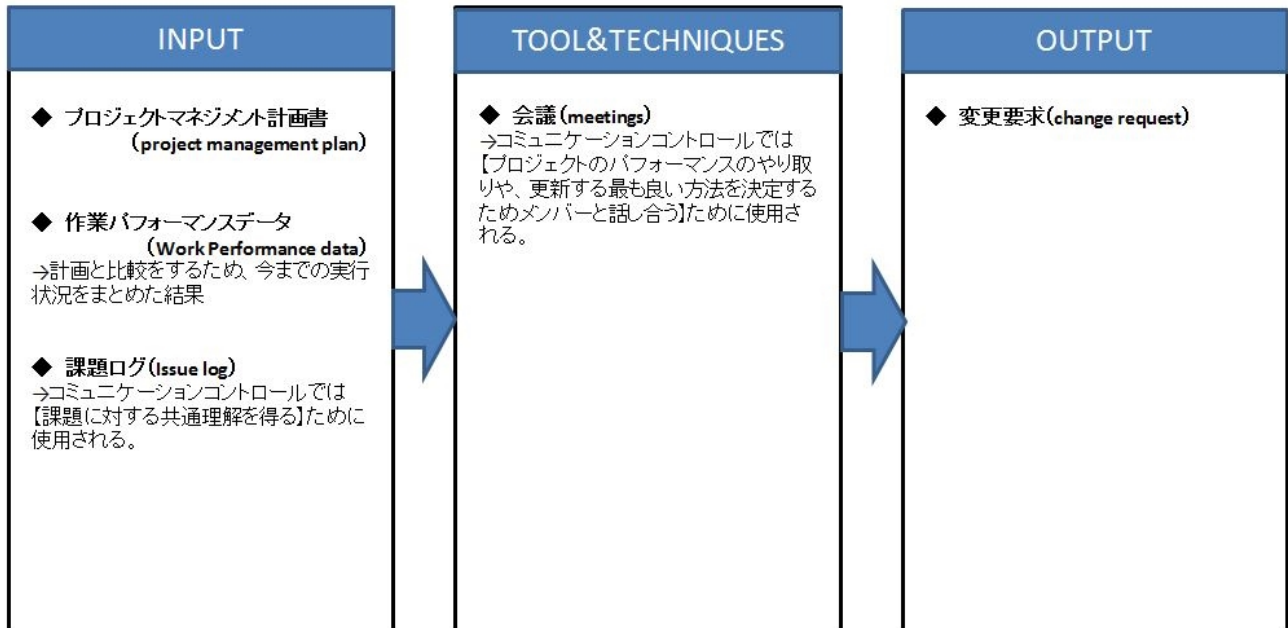
10.2.3 コミュニケーションマネジメント【アウトプット】

- プロジェクト伝達事項 (Project Communications)

情報が作られ、配布され、受け取られ、認識され、理解されるアクティビティ (activity) の事。つまり情報配布の結果として残ったもの (例：成果物の状況、スケジュールの進捗、発生したコスト)

10.3 コミュニケーションマネジメント コミュニケーションコントロール

コミュニケーションコントロール（Control Communications）はステークホルダーが求める情報ニーズを確かにするためにプロジェクト全体を通して、コミュニケーションをコントロールする。概要は以下のとおり。



つまり、当初計画どおりにコミュニケーションが行われているのかを、会議を行い話し合い、状況によっては変更要求を提案するプロセス。その他特徴的な内容は以下のとおり。

10.3.1 コミュニケーションコントロール【インプット】

- プロジェクトマネジメント計画書（計画値）
有益な情報を提供しているのか⇒当初計画の確認
- 作業パフォーマンスデータ（実績値）
- プロジェクト伝達事項（Project Communications）（実績値）
情報配布の結果として残ったもの（例：成果物の状況、スケジュールの進捗、発生したコスト）

10.3.2 コミュニケーションコントロール【ツールと技法】

- 会議
【プロジェクトのパフォーマンスのやり取りや、更新する最も良い方法を決定するためメンバーと話し合う】ために使用される。

10.3.3 コミュニケーションコントロール【アウトプット】

- 変更要求
計画通りに行われていなかった場合、変更要求が提案される